

地域力向上事業（看板事業）

第1回ジュニアジオガイド講座～火山やカルデラの雄大さを体感しよう！～

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [共催] 公益財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 阿蘇ジオパーク推進協議会
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
- [期 日] 令和元年7月13日（土）～7月15日（月） 【2泊3日】
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク
- [参加者] 小学4年～6年生 36名
- [講師] 池辺伸一郎 氏 （阿蘇火山博物館 館長）
児玉 史郎 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 会長）
広瀬 顕美 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
宮川 友博 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山本 俊夫 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
家入 惣子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
川原美代子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山口 尚彦 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）【実験担当】
山口 裕子 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）【実験担当】
佐久間研治 氏 （阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）【実験担当】
- [担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）
萱野 太一（事業推進係係員） 山川 昇椰（事業補佐員）
猪島 幸（事業支援室専門職員）

1 趣 旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。

2 目 標

- (1) 本事業を通して、児童一人一人が阿蘇ジオパークの実際に触れ、阿蘇ジオパークのよさや素晴らしさに気づき、自然に対する畏敬の念を持つとともに、郷土を愛する心を育てる。
- (2) 観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を通して、科学的に探究する力や技能を学ぶとともに、目的を同じにした仲間と協力して課題を解決する力を育む。
- (3) 体験から感じ取ったことや学んだことをまとめ、それを発信することでジュニアジオガイドとしての幅広い知識と表現力を育む。
- (4) ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞き、自らの将来について考える機会をつくる。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
7月13日 (土)				受付	開 会 式	探 検 班 編 成	昼 食	移 動	【活動1】 大観峰カルデラ ジオサイト探検(大観峰) 二重峠ジオサイト探検 (参動交代道)	移 動	入 浴	夕 食	【活動2】 カルデラ実験 大観峰イメージマップづくり 1日目のまとめ		就 寝 準 備	就 寝

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
7月14日 (日)	朝 の つ ど い	朝 食	出 発 準 備	活 動 の 説 明	移 動	【活動3】 草千里ジオサイト探検 (阿蘇火山博物館) (草千里ヶ浜)	昼 食	【活動4】 米塚ジオサイト探検(米塚下園地) 立野峡谷ジオサイト探検 (立野峡谷)(久木野帯)	移 動	入 浴	夕 食	【活動5】 噴火実験 2日目のまとめ		就 寝 準 備	就 寝	

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
7月15日 (月)	朝 の つ ど い	朝 食	出 発 準 備	部 屋 点 検	移 動	【活動6】 北外輪火砕流ジオサイト 探検(鍋ヶ滝)	昼 食	移 動	【活動7】 3日間のまとめ 発表会	修了式 閉会式						



草千里ヶ浜探検の様子



噴火実験の様子



鍋ヶ滝探検の様子



発表会の様子

4 成果と課題

(1) 成果

- ・チラシの配布枚数を3万部に増やし配布エリアを広げたことや新聞社への協力依頼により、昨年度はいなかった福岡県や大分県由布市からの参加者を確保することができた。
- ・全3回参加可能な参加者を優先当選したことで、事業後のアンケートでも「次回もたくさん勉強したい。」や「3回目のガイド体験を頑張りたい。」といった記述が多く見られた。
- ・事業初日と2日目はあいにくの雨だったが、ジオガイドとの打ち合わせにより臨機応変にプログラムを変更して対応することができた。

(2) 課題

- ・次回は、昨年度のガイドの様子を動画で見せるなどして参加者が第3回のガイド体験の見通しを更にもてるようにする必要がある。
- ・班長については責任感のある高学年の参加者を選出する必要がある。第2回で改善したい。